

協会の高校生への

技術教育・普及活動が結実

関東甲信越高校生溶接コンクールにて最優秀賞を受賞

ACTIVE KUMIAI

一般社団法人山梨県鉄構溶接協会(中出英三会長)では、県内業界の溶接技術者の育成や溶接技術の向上を目指し、年間を通じての溶接技能者の認証試験や講習会、競技大会を開催するなどの支援事業を行っている。

その一環として、業界の将来を担う人材育成では、県内の工業系の高校と連携し、高校生への教育・技能講習や教員に対する溶接実務研修などを実施している。

高校生の日頃の学習成果を発揮する場として「山梨県高等学校溶接競技会」を開催し、今年で5回目を数える。大会の種目は9mmの板厚で開先角度60度のV形突合せ裏当て金方式の下向き溶接(JIS Z 3801)によるA-2F)で競技を行い、1、2年生で上位に入賞した2名を翌年度の関東甲信越高校生溶接コンクールへ山梨県代表として推薦している。

昨年度の山梨県の大会で優勝、準優勝した当時2年生2名が、今年の4月20日に神奈川県藤沢市で開催された第4回関東甲信越高校生溶接コンクール(11都県から各2名、合計22名が参加)に出場し、韮崎工業高校の松本義和君が最優秀賞を受賞した。



山梨県教育委員会での報告会・懇談会

この結果は、高校生自身がたゆまぬ努力を続ける中で、協会の支援が実を結んだ大変喜ばしい出来事であった。来年は、関東地区に全国の8地区を加えた全国大会が開催される予定であり、今後も協会は、高校生が関心を持ち、県内企業に就職したいと思えるよう、技術に触れることの出来る多くの機会を提供し、高校と連携しながら、底辺の拡大と一層の技能向上、資格取得の推進に向けて活動していく。



最優秀賞の松本君(韮崎工業高)